

■ 防災SP養成eラーニングの目的

災害時に活動する応援職員等が、現地で従事する業務について標準化された業務手順(Standard Operating Procedure)を短時間で学ぶことにより、地方公共団体の災害対応力の向上を図る。

■ 対象テーマ

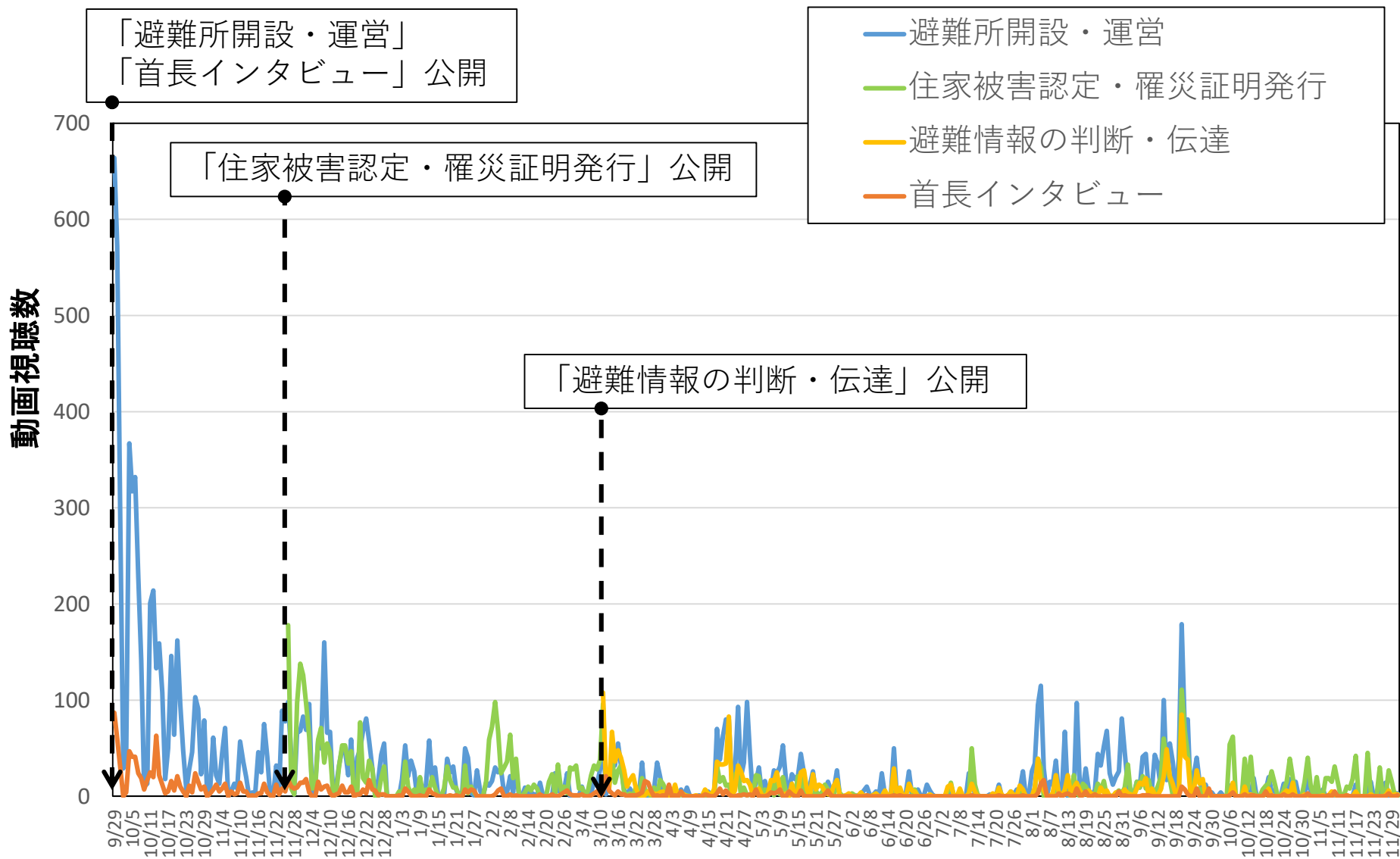
防災基本計画を踏まえ、災害時に多くの応援職員等が即戦力として活躍することが期待される下記の業務を当面のテーマとする。

- ・ 避難所開設・運営 (済)
- ・ 避難情報の判断・伝達 (済)
- ・ 災害廃棄物処理
- ・ 住家被害認定調査・罹災証明書交付 (済)
- ・ 要配慮者への支援
- ・ 防疫・遺体処理

※ 現在作成中のテーマ

(ア) eラーニングの公開・視聴状況

総視聴数（12月1日18時時点）：避難所開設 11,986回、住家被害 4,848回、避難情報 1,937回、首長インタビュー 1,447回、総計 20,218回



(イ) eラーニング新規コンテンツの作成状況

- WGを適宜開催しながら新規コンテンツを作成中
- WBS及びPPTのたたき台が完成し次第、関係機関へ照会

	要配慮者への支援	防疫・遺体処理		災害廃棄物処理
コーディネーター	鍵屋 一 (委員/跡見学園女子大)	山本 晋吾 (被災者支援コース講師/兵庫県)		平山 修久 (名古屋大)
WGメンバー	田村 圭子 (委員/新潟大), 内閣府防災			内閣府防災
WG/作業会開催状況	6/15,9/10,9/29,10/14,10/17, 10/20,11/3,12/3	6/15, 7/21, 8/10, 9/10, 10/6,10/9		6/15,6/21,12/13
当初の目標	関係省庁照会(12月中)→完成(1月中)			
現在の状況	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者支援WBS(昨年度作成)をベース ガイドライン 1)福祉避難所 →ほぼ終了 指針 2) 個別避難計画→内閣府担当照会中 マニュアル 3) 保健師協会 →作業中の反映 PPTたたき台(作成中) 	防疫 <ul style="list-style-type: none"> 厚生省通知(災害防疫の実施)反映 水害サミットからの発信(国交省)反映 	遺体の取り扱い <ul style="list-style-type: none"> 1) 先進自治体マニュアル(東京都・江戸川区), 2) 遺族ケア(DMORT), 3) 災害救助取扱事務反映, 4) 有明講義資料反映 PPTたたき台(作成中) 	<ul style="list-style-type: none"> 1) ガイドライン(環境省9), 2)過去の被災自治体教訓(常総市・倉敷市・益城町)反映 環境省照会済み →意見を反映中 暫定版を地方自治体へ照会予定(12月中)
予定	検討会委員によるメール審議を経て、公開(3月)			

今後の防災スペシャリスト養成eラーニングの整備計画

